

作業負担が大幅軽減

プロセスフリープレート

視認性は従来比1.5倍に

埼玉県久喜市に本社がある1975年創業の株式会社印刷(中村有更社長)は、折込チラシ、パンフレット、DMなど商業印刷をメインに行っている。さらに、「Web to Print」の仕組みを自社開発し、2010年から小ロットに強いPODDを駆使して全国からの名刺印刷の注文をオートメーションで受け

るまでになった。現在従業員数は25人。同社の顧客は大手のカーディーラー系が多く、大ロットの折込チラシから顧客イベントに合わせた中・小ロットの印刷物まで幅広く受注。大ロットの印刷物は大ロットが得意のオ

ト Print」の仕組みを自社開発し、2010年から小ロットに強いPODDを駆使して全国からの名刺印刷の注文をオートメーションで受け

◇

同社はコダックのプロセスフリープレート「KODAK SONORA XJ」を採用している。実際に同社工場で見せてもらったところ、刷り出し開始から10〜20枚の間で機上現像が終了している。さらに、CTP出力された版に印刷される画

像がきちんと目視でき、出力された版がCMYKのどの色なのか文字を鮮明に見ることができ、印刷機に取り付ける際の間違いなどを防ぐことが、より簡単に可能になったという。また、

非常に早くなくなった。コダック社の担当者話を伝えれば、すべてコダックQ800はインラインパンチャーを付けたため、見当など印刷面でも品質アップの大きな効果を受けている。

現在、同社社内での印刷は100%「KODAK SONORA XJ」を採用している。同社は、5年から10年先、印刷がこのまま進むかどうか不安視される部分があると同社は捉えており、逃げられない将来に

若原真人取締役は「SONORA XJの製造が昨年海外製から日本製となり、より使いやすくなった」と「KODAK SONORA XJ」を高く評価した。と

システムからCTP、CTPプレートまでコダック製品で統一している。若原取締役は「とにかく、コダック社の製品に統一したことで、われわれの要求や、発生した問題点を解決するレスポンスが

1.5倍アップし使いやすさが向上している。現像処理不要の完全無処理版であるため、版現像における配管設備や水、電気、薬品代、廃液費用が不要となり、現像機のメンテナンスもまったく不要となりオペレーターの印刷通し数を達成している。

注を最大限自動化したり、「KODAK SONORA XJ」という完全無処理版CTPプレートを駆使し、中間の作業やそれに関わるコストや省力化を図るなど、様々な取り組みを行っている同社は、人ではかやれないことは人的パワーを使い、コスト削減、効率化すべき作業は機械化していくという明確な線引きを行っている。そこに

「KODAK SONORA XJ」を採用以前から他社のプロセスフリープレートを使用していたが、同プレートが出たことでテストを行ったところ、視認性の良さ、機上現像の速さ、耐刷性など、かねてから同社が課題として挙げていた点がすべてクリアされたプレート

また同プレートは、機内で印刷する場合でも、

これは、同社の特徴の一つでもあり「これでいくと方針を決めたら、後戻りにくいよう退路を断つようにしている。新しく次のことに踏み出さなければ何も生まれないし、動かない。社全体でそれを追求していくのがわが社の特徴の一つ」と若原取締役は話す。

このように、「Web to Print」に注を最大限自動化したり、「KODAK SONORA XJ」という完全無処理版CTPプレートを駆使し、中間の作業やそれに関わるコストや省力化を図るなど、様々な取り組みを行っている同社は、人ではかやれないことは人的パワーを使い、コスト削減、効率化すべき作業は機械化していくという明確な線引きを行っている。そこに

また同プレートは、機内で印刷する場合でも、

また同プレートは、機内で印刷する場合でも、

これは、同社の特徴の一つでもあり「これでいくと方針を決めたら、後戻りにくいよう退路を断つようにしている。新しく次のことに踏み出さなければ何も生まれないし、動かない。社全体でそれを追求していくのがわが社の特徴の一つ」と若原取締役は話す。

このように、「Web to Print」に注を最大限自動化したり、「KODAK SONORA XJ」という完全無処理版CTPプレートを駆使し、中間の作業やそれに関わるコストや省力化を図るなど、様々な取り組みを行っている同社は、人ではかやれないことは人的パワーを使い、コスト削減、効率化すべき作業は機械化していくという明確な線引きを行っている。そこに



若原取締役



版の視認性の良さが際立つ



10〜20枚で現像が終了する



インラインパンチャー付「KODAK TRENDSETTER Q8000」

ルポ 中村印刷

CTP/プリプレスワークフロー特集

取り組み、煩雑な名刺受

の営業形態をさらに追及していきたくしている。